

お元気ですか



「肺気腫」

どのようなイメージをお持ちですか

今日は、「肺気腫」のお話です。

肺気腫と聞いて、どのような印象を持たれるでしょうか。「息が苦しくなる」「おじいさんが酸素ボンベを持って歩くようになった」「たばこを吸い過ぎたらなる」「がんとは違うのでそんなに怖くない」ほかにも色々なご意見があろうかと思います。肺気腫は、たばこの病ともいわれ、喫煙が原因の多くを占めています。

わが国では、昭和初期から昭和50年代にかけて、たばこ消費量の増加が続いてきました。平成に入つて、肺気腫による死亡は徐々に増えてきています。

このコーナーでは、市立長浜病院のスタッフの紹介を兼ねて、「普段の生活での予防法」など生活に役立つ「健康豆知識」を紹介します。

「知り合いはもつと歳までたばこを吸っていたが、こういう症状にはならなかつた」「私はもう息苦しくなるまでたばこを吸い続けて、壊れた肺は元に戻らないのだから、今からやめて仕方ないのでは」いずれも、もつとものようですが、たばこ

の煙による肺の壊れやすさには個人差があります。お酒が強い人、弱い人があるのと似ています。そして、現在の肺の性能がよくなくても、禁煙と薬物治療を継続することで、それ以降の悪化を防ぐことも可能です。お気軽にご相談ください。

問 市立長浜病院
☎ 681-2300(代表)

肺腫は、たばこの煙を代表とする有害な粒子により肺胞(酸素)を血液に取り込む場所)が破壊され、息をはく際に气体の流れが害され、呼吸が苦しくなる病気です。壊れた肺胞は元には戻りませんので、肺気腫の症状のある方は、禁煙することが治療の第一歩となります。



▲池氏庭園 全景

ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、448件※ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介します。

※平成27年7月1日現在

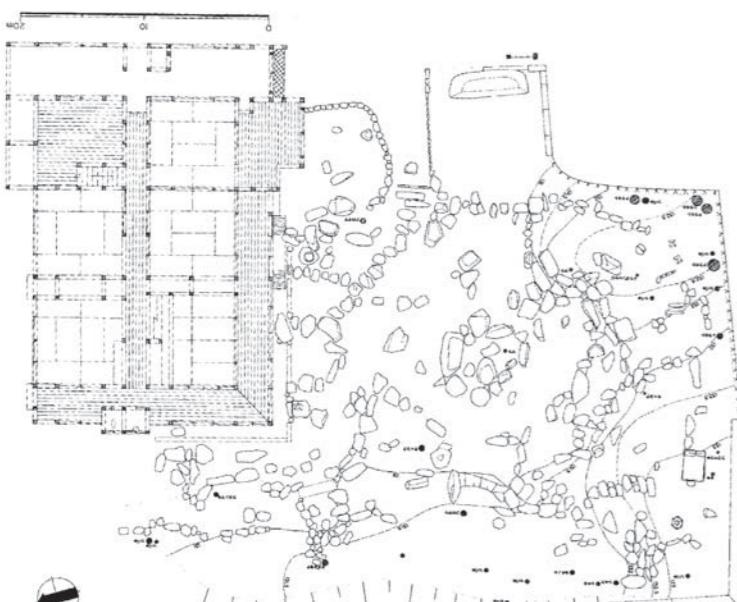
県指定文化財 名勝 池氏庭園

指定日：昭和60年3月29日 指定
所在地：南池町

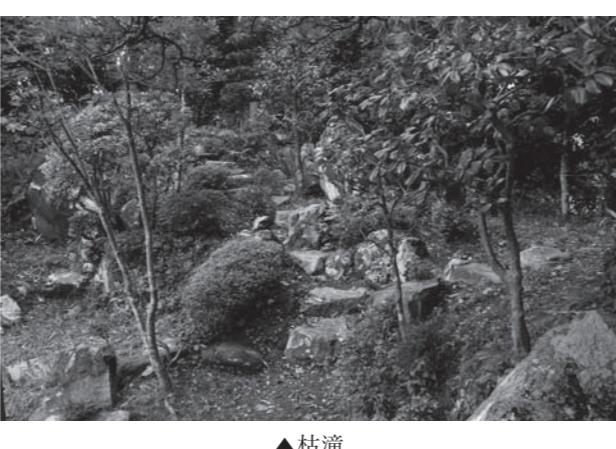
▲池氏庭園 全景

池氏は、佐々木源氏伊庭氏の一族門、伊庭新介の長男が南池村の池掃部の名目を伝えたのに始まるといわれています。本庭は、その後裔、池木龍の作です。木龍は伊山軒白雲堂椿原齋と号し、詩歌に巧みで、当家には「前園記」「白雲堂八景詩」「遊白雲堂記」などの詩文が所蔵されています。元禄八年(1695)の「椿原齋場記前園記」に「龍鼻山前二仮峰ヲ築ク藤梅松樹枝ヲ交エテ濃シ」とあることから、この頃にはこの庭が出来上がつていたことが推測できます。

本庭は書院の南に位置しており、その構成は、枯山水で背後を築山とし、左側手前と西側手前へ裾を延ばして野筋風の起伏をつけます。さらに、左手奥に枯澗を組み、立て石を配し、竹生島弁天を祀



▲測量図



▲枯澗

からも大変貴重なものであるといえます。この庭の構成は、左右の均整のとれた地割りや、多数の石を配する点など、米原市の青岸寺庭園の構成と非常によく似ていることが指摘されています。

池氏は、佐々木源氏伊庭氏の一族門、伊庭新介の長男が南池村の池掃部の名目を伝えたのに始まるといわれています。本庭は、その後裔、池木龍の作です。木龍は伊山軒白雲堂椿原齋と号し、詩歌に巧みで、当家には「前園記」「白雲堂八景詩」「遊白雲堂記」などの詩文が所蔵されています。元禄八年(1695)の「椿原齋場記前園記」に「龍鼻山前二仮峰ヲ築ク藤梅松樹枝ヲ交エテ濃シ」とあることから、この頃にはこの庭が出来上がつていたことが推測できます。

本庭は書院の南に位置しており、その構成は、枯山水で背後を築山とし、左側手前と西側手前へ裾を延ばして野筋風の起伏をつけます。さらに、左手奥に枯澗を組み、立て石を配し、竹生島弁天を祀

る小祠を安置します。三ヶ所に出島をつくり、前面の平地(枯澗)に中島を設け、右手前の入り込みには反りをつけた切石橋を渡すなど、多彩な景観を見せてています。

多数の石を用いながら全体としてよくまとまりており、石組も豪華にして秀逸で、当地方の民家の枯山水としては良好に管理され、江戸時代初期の古い姿をよく伝えていること

『ブラジルは今、何時ですか？』



長浜市国際交流員
ソランジェ

△△が行われました」という表現が使われています。皆さん、ブラジルの夏にイグアス滝の観光に行く場合はサマータイムに注意してください。ブラジル側のフォス・ド・イグアスは日本との時差は11時間ですが(ブラジルと日本の時差は通常12時間です)、アルゼンチン側のペルト・イグアスは12時間のままとなります。



☆ワンポイントポルトガル語講座☆

オーラ Hora → 時間 「ho」を強く発音

問 市民協働推進課(☎ 65-8711)